

「掘り下げ(内発)」のための指導者役割

「T・E・F・P・C」の5の仕事・・「教え込み」からの脱却・進化

「図式」: 教師と学習者・・T(教師) S(学習者) E(目的) G(目標) M(教材)



GD

「教育」の構想・・それに応じての5つの対応

C



コーディネーター・・教師はプロジェクトグループを他の組織や指導者と結びつける

P



企画させる人(Pマネージャー)・・教師は学習者の企画を推進させる人

F



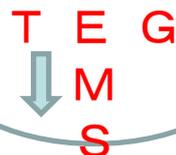
協働・周旋する人・・教師は学習者の学習を結びつける

E



導き出す人・・教師が学習者に考えさせる

T

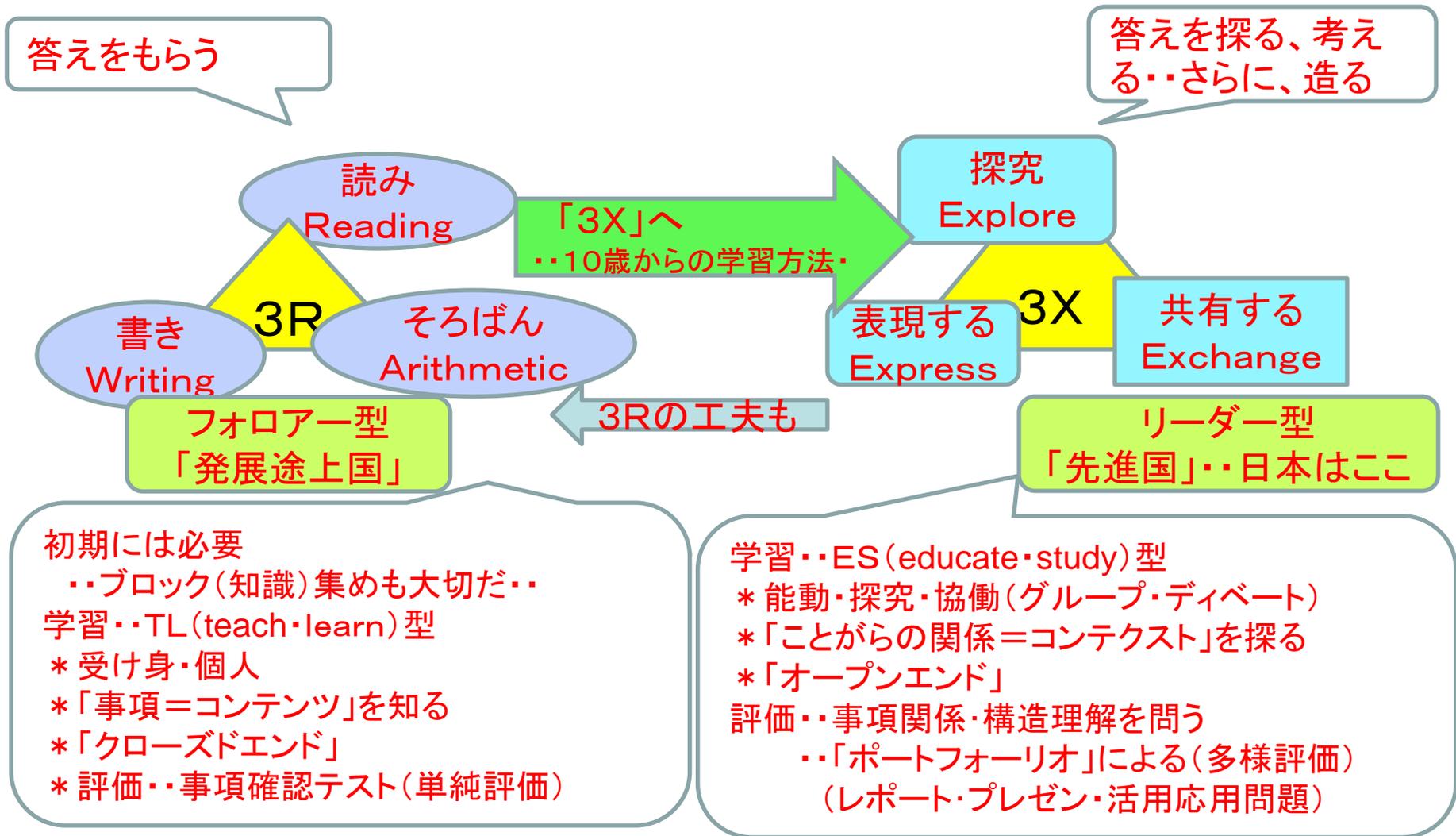


教える人・・教師が主体・学習者は受動

「よくわかる授業」でも・・バリアフリー(フラット)なら学力付かない胃、バリアあり(試練あり)なら学力向上に

ここでは、Tは賢くなるが、Sは受動のままでは賢くならない

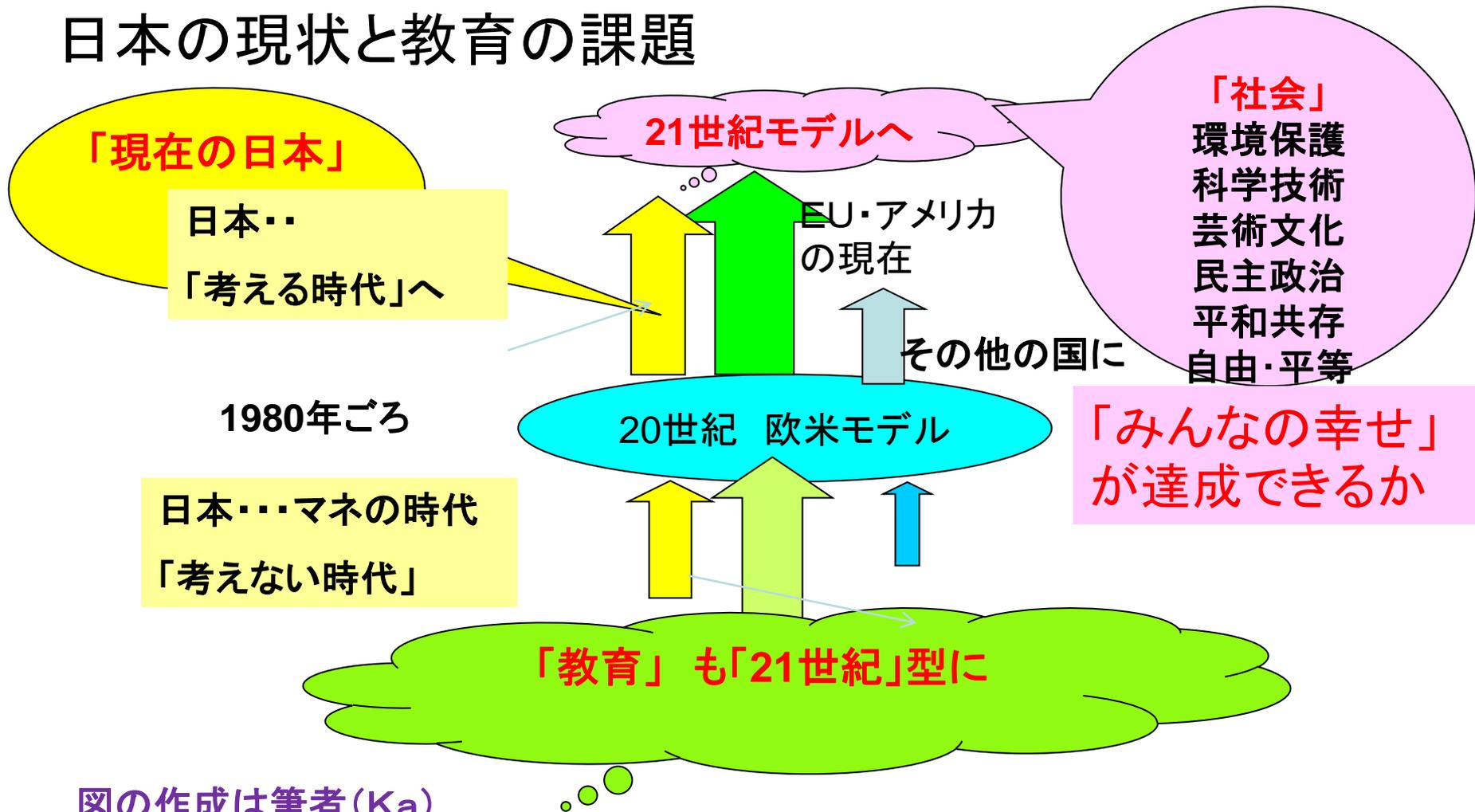
「学習法の改善」・・・3Rと3X 習得学習と探究学習



図の作成は筆者(Ka)・・・「3X」については、シーモアパパート(カナダ数学者)の理論から

「思考力」が求められる背景 時代背景・・考える時代に

日本の現状と教育の課題



図の作成は筆者(Ka)

「説明」 ・ ・ 「現在で求められる力は？」

・ ・ 単純仕事から複雑仕事ができることが要求される ・ ・

1:「働きの変化」

単純な作業(肉体)＝機械化 → 「オペレーターに」

単純な作業(頭脳)＝機械化 → 「クリエイターに」

2:「リーダーが必要なこれからの社会」

「これまで」

1980

「これから」

* 少数のエリートが社会を引っ張る・・・その他多くの人はそれに従う・・・

* かなりの数のリーダーが必要な社会・・・
* 多くの人が何かのところでリーダーとなる時代・・・

リーダー

「解説」・・・日本など先進国では、単純な労働は減少してきて、それらの仕事はロボットや他の国の人がすることとなった。日本の子どもたちは、複雑で高度な仕事をする事となる。だから、考える頭になることが重要となった。

また、日本の社会も民主化して、大勢の人が参加して運営する国となったのですから、ここでも多くの「リーダーやミニリーダー」が求められるのです。教育に、「考えること」が求められてきたのです。